

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

昭和十二年八月三十日

渡支邦人取締状況

不良分子、渡支取締方ニ関スル件

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A
	15
	46-3

46-3

46-13

SHIPPING ADVICE# 10097

132



寫
米三機密合第三七七六號

昭和十二年八月三十一日

渡支邦人取締狀況

外務次官 堀内 謙介

各地方長官 殿

不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件

從來支那ニ渡航スルニハ旅券ノ必要ナク自由ナリシ處今回ノ日支事
變ニ關聯シ支那在留邦人ハ多數引揚ケ其ノ遺留財産ニ對スル保護警
戒等モ行涉リ兼ヌル今日或ハ殘留セル邦人ヲ煽動シテ事ヲ爲サント
シ或ハ混亂ニ紛レテ一儲セントスル等ノ無賴不良ノ徒ノ支那渡航ハ
此際嚴ニ之ヲ取締ルノ必要アリ既ニ滿洲國及關東州ニ於テハ夫々之
カ措置ヲ爲シ又關係在支帝國公館ヨリモ右取締方申越ノ次第アリタ

国立公文書館	
分類	③ ④
配架番号	3 A
	15
	40-3

ルニ付テハ追テ何分ノ義申進スル迄今後當分ノ間支那ニ渡航セント
スル(一)一般本邦人ニ對シテハ所轄警察署長ヨリ(二)又公務ノ爲派遣セ
ラルル者ニ對シテハ派遣官公署ヨリ別紙手續ニ依リ身分證明書ヲ發
給スルコトトシ右身分證明書ヲ有スルカ又ハ正式旅券ノ發給ヲ受ケ
タル者ノ外ハ支那ニ向ケ乗船セシメサル様御取扱相成度而シテ右身
分證明書ノ發給ニ關シテハ前記ノ趣旨ニ依リ業務上又ハ家庭上其ノ
他正當ナル目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者ノ外ハ此際可成自發的
ニ渡支ヲ差控ヘシムルコトニ御取計相成以テ在支皇軍ノ軍後方地區
ノ治安確保ニ協力相成様致度尙本件ノ趣旨ハ一般ニ周知方可然御取
計相成度右關係官廳トモ協議ノ上依命此段申進ス

(別紙)

支那渡航取扱手續

一日本内地及各殖民地ヨリ支那ニ渡航スル日本人(朝鮮人及臺灣籍
民ヲ含ム)ニ對シテハ當分ノ間居住地所轄警察署長ニ於テ甲號樣
式ノ如キ身分證明書ヲ發給スルモノトス

但シ制服着用ノ日本軍人軍屬ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ身分證明書ハ公務ノ爲派遣セラルル官吏其ノ他ノ者ニ對シ
テハ派遣官公署ニ於テ乙號樣式ニ依リ之ヲ發給スルモノトス
二警察署長第一項ノ身分證明書ノ下付願出アリタルトキハ本人ノ身
分、職業、渡航目的、要件、期間等ヲ調査シ左ノ通取扱フ
(イ)素性、經歷、平素ノ言動等不良ニシテ渡支後不正行爲ヲ爲スノ
虞アル者ニ對シテハ身分證明書ヲ發給セズ
(ロ)業務上家庭上其ノ他正當目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者以外
ノ者ニ對シテハ可成自發的ニ渡支ヲ差控ヘシムルモノトス
三出發港所轄警察署長ハ第一項ノ身分證明書又ハ帝國政府發給ノ旅
券ヲ有スル者ニ非ラサレハ支那ニ向ケ乗船セシメサルモノトス
四本身分證明書ノ發給ニ對シテハ手数料ヲ徴收セス
五本手續ハ支那行外國旅券ノ發給ヲ妨クルモノニ非ス
六本手續ハ支那現地ノ事態ノ許ス限り可及的速ニ之ヲ解除スルモノ
トス
七本手續ハ即時施行ス

但シ第三項ニ關スル限リ昭和十二年九月十日ヨリ之ヲ施行スル
モノトス

甲號様式

身分證明書	
本籍	
現住所	
職業	
氏名	
生年月日	
一支那へ渡航ヲ必要トスル目的、理由、期間	
右證明ス	
昭和十二年 月 日	
警察署長 官氏名 印	

乙號様式

身分證明書	
官職	氏名
生年月日	
一支那へ渡航ヲ必要トスル目的、用務	
右證明ス	
昭和十二年 月 日	
(派遣官公署) 官職氏名 印	

(二) 渡支邦人取締ノ實情

(1) 一般渡航者ノ取締ニ關シテハ住所地所轄警察署長ニ於テ身分證明書發給與受理ニ際シ過去ノ經歷其ノ他ニヨリテ判斷シ

素行不良者、犯罪者

漫然渡航セントスル者

慰問又ハ視察ニ藉口スル觀光者

營業ニ目的トスル者ニシテ基礎不確實ナル者

所謂支那浪人其ノ他渡支好マシカラサル者

等ニ對シテハ身分證明書ヲ發給セズ以テ不良者ノ渡航防止ニ努
メツツアリ。

(3) 醜業ヲ目的トシテ渡航スル者其ノ他風俗ニ關ス營業ニ從事スル
コトヲ目的トシテ渡航スル婦女ノ取締ニ關シテハ別紙雜牒ノ趣
旨ニ依リ取扱ヒツツアリ。

寫

內務省發警第五號

昭和十三年二月二十三日

內務省警保局長

各廳府縣長官宛

支那渡航婦女ノ取扱ニ關スル件

最近支那各地ニ於ケル秩序ノ恢復ニ伴ヒ渡航者著シク増加シツツア
ルモ是等ノ中ニハ同地ニ於ケル料理店、飲食店、カフェー又ハ貸座
敷類似ノ營業者ト聯繫ヲ有シ是等ノ營業ニ從事スルコトヲ目的トス
ル婦女寡カラザルモノアリ更ニ亦内地ニ於テ是等婦女ノ募集周旋ヲ
ナス者ニシテ恰モ軍當局ノ諒解アルカノ如キ言辭ヲ弄スル者モ最近
各地ニ頻出シツツアル狀況ニ在リ婦女ノ渡航ハ現地ニ於ケル實情ニ
鑑ミルトキハ蓋シ必要已ムヲ得ザルモノアリ警察當局ニ於テモ特殊
ノ考慮ヲ拂ヒ實情ニ即スル措置ヲ講ズルノ要アリト認メラルモ是
等婦女ノ募集周旋等ノ取締ニシテ適正ヲ缺カンカ帝國ノ威信ヲ毀ケ

皇軍ノ名譽ヲ害フノミニ止マラズ銃後國民特ニ出征兵士遺家族ニ好マシカラザル影響ヲ與フルト共ニ婦女賣買ニ關スル國際條約ノ趣旨ニモ悖ルコト無キヲ保シ難キヲ以テ旁々現地ノ實情其ノ他各般ノ事情ヲ考慮シ爾今之ガ取扱ニ關シテハ左記各號ニ準據スルコトト致度依命此段及通牒候

記

- 一、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ハ現在内地ニ於テ娼妓其ノ他事實上醜業ヲ營ミ滿二十一歳以上且花柳病其ノ他傳染性疾患ナキ者ニシテ北支、中支方面ニ向フ者ニ限り當分ノ間之ヲ默認スルコトトシ昭和十二年八月米三機密合第三七七六號外務次官通牒ニ依ル身分證明書ヲ發給スルコト
- 二、前項ノ身分證明書ヲ發給スルトキハ嫁業ノ假契約ノ期間滿了シ又ハ其ノ必要ナキニ至リタル際ハ速ニ歸國スル様豫メ諭旨スルコト
- 三、醜業ヲ目的トシテ渡航セントスル婦女ハ必ズ本人自ラ警察署ニ出頭シ身分證明書ノ發給ヲ申請スルコト

四、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身分證明書ノ發給ヲ申請スルトキハ必ズ同一戸籍内ニ在ル最近尊族親、尊族親ナキトキハ戸主ノ承認ヲ得セシムルコトトシ若シ承認ヲ與フベキ者ナキトキハ其ノ事實ヲ明カナラシムルコト

五、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身分證明書ヲ發給スルトキハ嫁業契約其ノ他各般ノ事項ヲ調査シ婦女賣買又ハ略取誘拐等ノ事實ナキ様特ニ留意スルコト

六、醜業ヲ目的トシテ渡航スル婦女其ノ他一般風俗ニ關スル營業ニ從事スルコトヲ目的トシテ渡航スル婦女ノ募集周旋等ニ際シテ軍ノ諒解又ハ之ト連絡アルガ如キ言辭其ノ他軍ニ影響ヲ及ボスガ如キ言辭ヲ弄スル者ハ總テ嚴重ニ之ヲ取締ルコト

七、前項ノ目的ヲ以テ渡航スル婦女ノ募集周旋等ニ際シテ廣告宣傳ヲナシ又ハ事實ヲ虛偽若ハ誇大ニ傳フルガ如キハ總テ嚴重之ヲ取締ルコト又之ガ募集周旋等ニ從事スル者ニ付テハ嚴重ナル調査ヲ行ヒ正規ノ許可又ハ在外公館等ノ發行スル證明書等ヲ有セズ身許ノ

(三) 支那渡航邦人数調

内 譯			昭和十三年中	昭和十四年自一月至三月
一月中	二月中	三月中	九、三七五名	一〇、一二五名
			一六、一三九名	

日本郵船
10月 支那 往來 支那 往來 往來 往來
12月 往來 47,000名 (支那 往來)

12月 往來 (94,000) = 往來 往來

往來 往來 往來
① 往來 往來
② 往來 往來
(往來 往來 往來 往來)
往來 往來 往來 往來
往來 往來 往來 往來

確實ナラザル者ニハ之ヲ認メザルコト

10097
120

(四) 地域別及種類別調 (昭和十四年三月分)

種別	地域別	官公吏	視察旅行者	永住者	接客業者	其他	計
北支		二一〇	一三五六	三九六五	五三四	三九七二	九〇七三
中支		九三	九二五	二四六五	六一八	二五六三	六六六四
南支		七	八七	一〇九	四二	一二〇	三六五
奧支		三	一六	二〇	三	三一	七三
計		三一三	二三八四	六五五九	六一九七	三六八六	一六一三九

初渡航者 一四七五六
再渡航者 三三八三
計 一六一三九